



中期経営計画 2019

EMS事業

1. 事業の概要
2. 中期経営計画 2016 の総括
3. 中期経営計画 2019

2017年5月26日

沖電気工業株式会社

執行役員 EMS事業本部長

中野善之

本日のご説明内容

1. 事業の概要
2. 中期経営計画2016の総括
3. 中期経営計画2019

本日のご説明内容

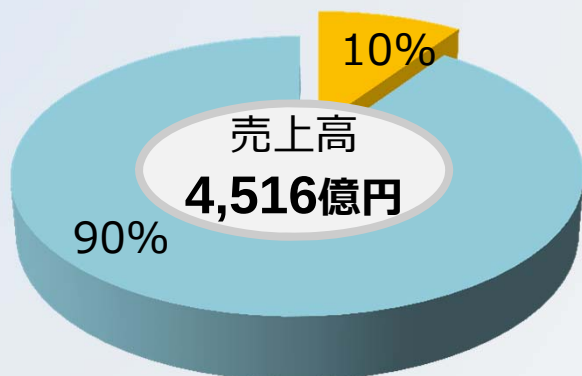
1. 事業の概要

2. 中期経営計画2016の総括

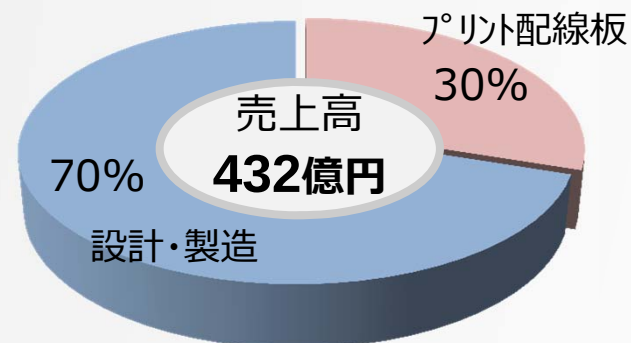
3. 中期経営計画2019

事業の概要 – 事業の位置づけ –

- EMS事業は、最も新しく一番小さな事業セグメント
- OKIグループの収益の柱になるべく、積極投資により高成長を維持



16年度OKIグループ売上構成比



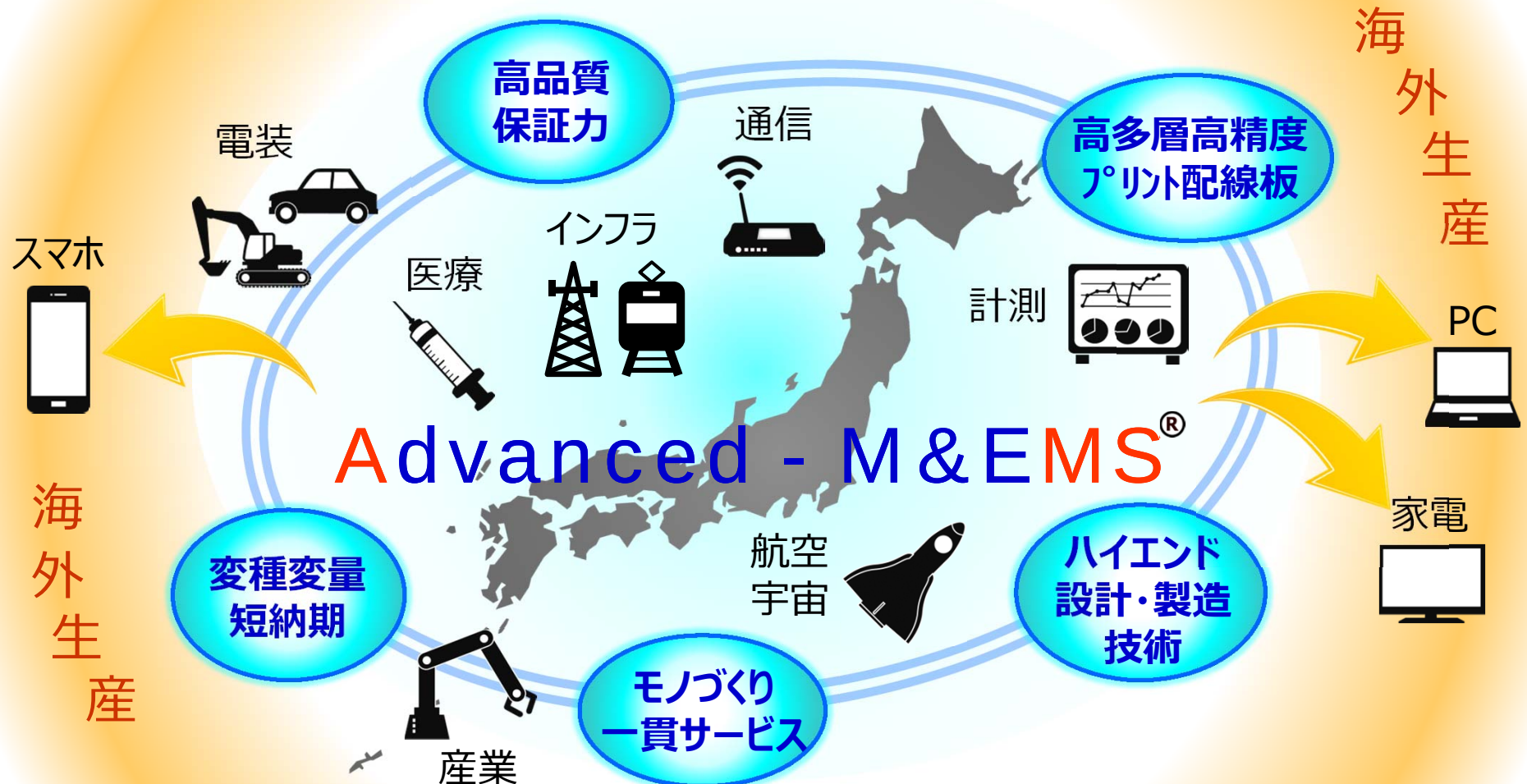
EMS事業売上構成比

セグメント別事業戦略（ポートフォリオの改善）

事業	本中計での位置づけ	注力キーワード
情報通信	安定収益確保と持続的成長	I o T 共創事業 融合技術
メカトロ	成長軌道への回帰	新興国 流通市場 戦略商品
プリンター	戦略転換での安定収益化	ニッチ市場 L E D 軽量経営
EMS	1,000億円事業への通過点	新市場領域 M & A

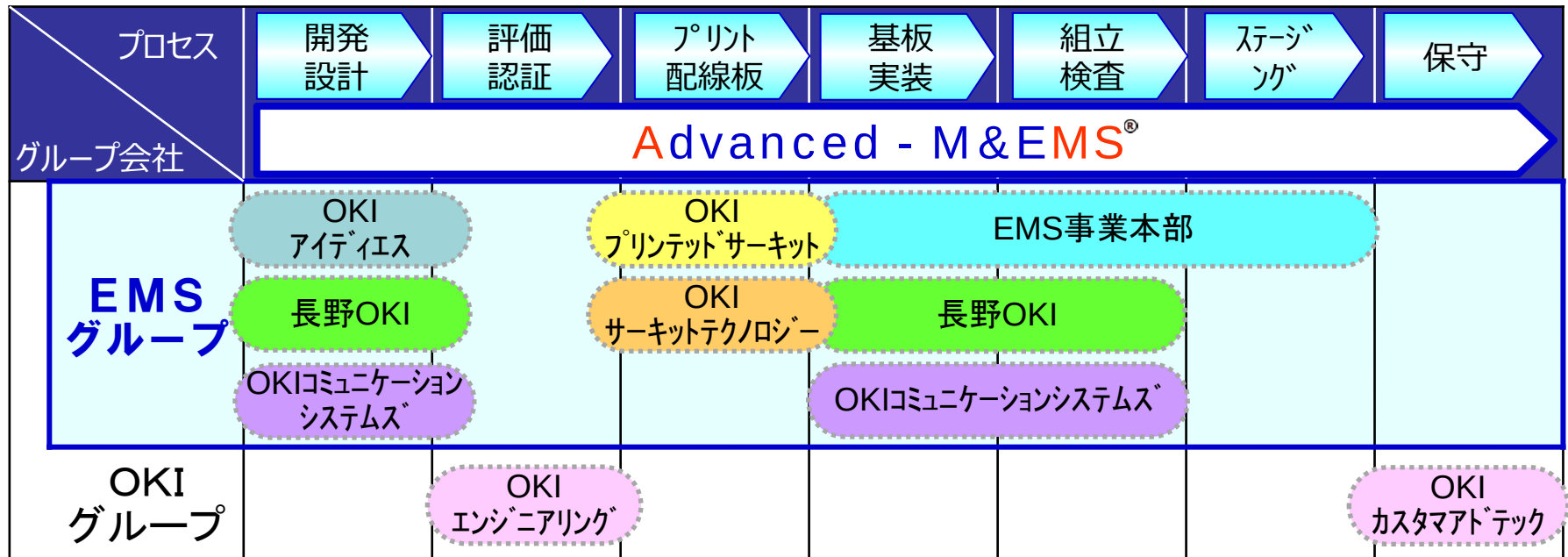
事業の概要 — 事業の内容 —

- 日本生産を中心として、ハイエンド領域に注力
- Made in Japanの特長を活かした“モノづくり総合サービス”を展開



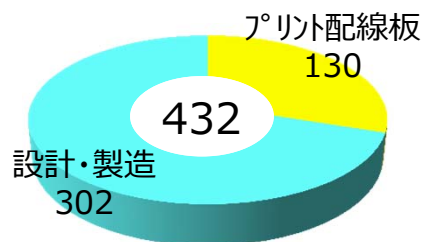
事業の概要 — 事業の構造 —

- 設計から製造までの “一貫サービス” が特徴
- グループの総合力により、各市場のハイエンド製品の設計製造を受託



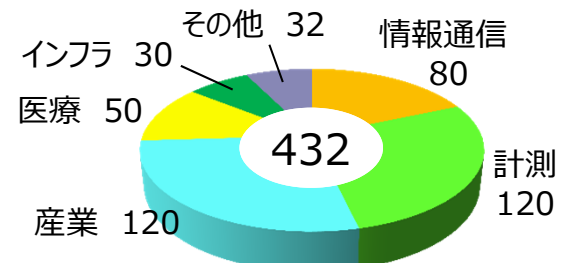
＜16年度構成別売上高内訳＞

(億円)



＜16年度市場別売上高内訳＞

(億円)



本日のご説明内容

1. 事業の概要

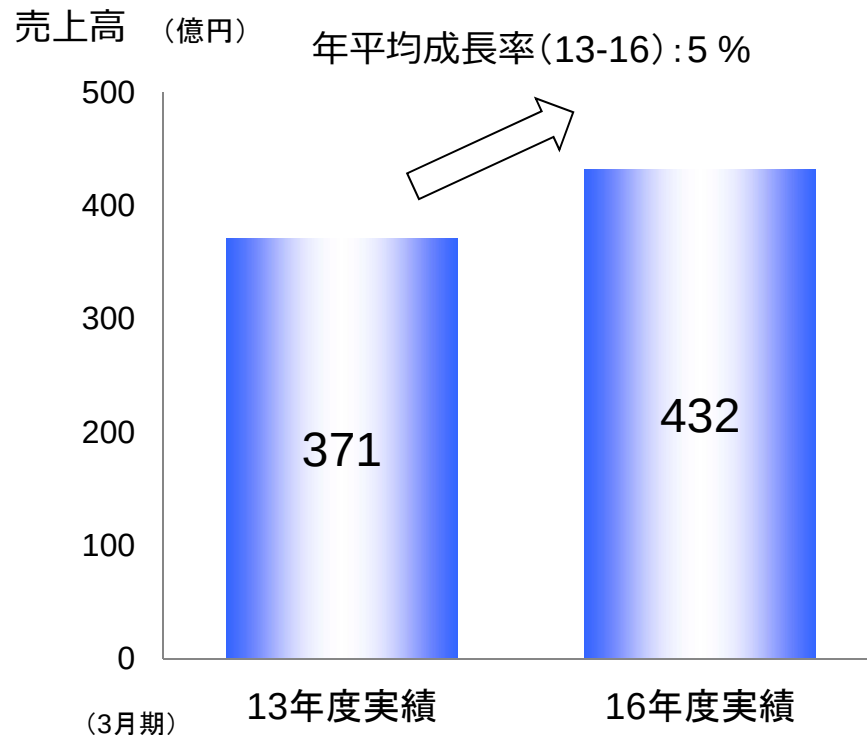
2. 中期経営計画2016の総括

3. 中期経営計画2019

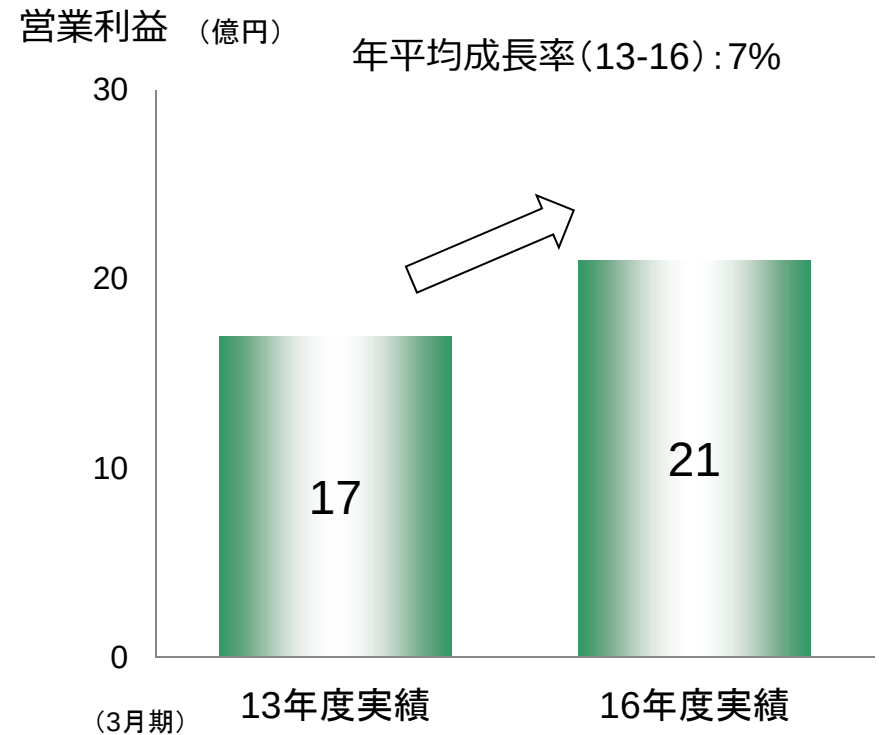
中期経営計画2016の総括

- 増収増益を達成
- 新市場の開拓により、17年度以降の成長の種を確保
 - 医療 : 既に参入済 ⇒ 売上拡大中
 - 航空宇宙 : 試作受注済 ⇒ 本格参入を目指す

＜売上高推移＞



＜営業利益推移＞



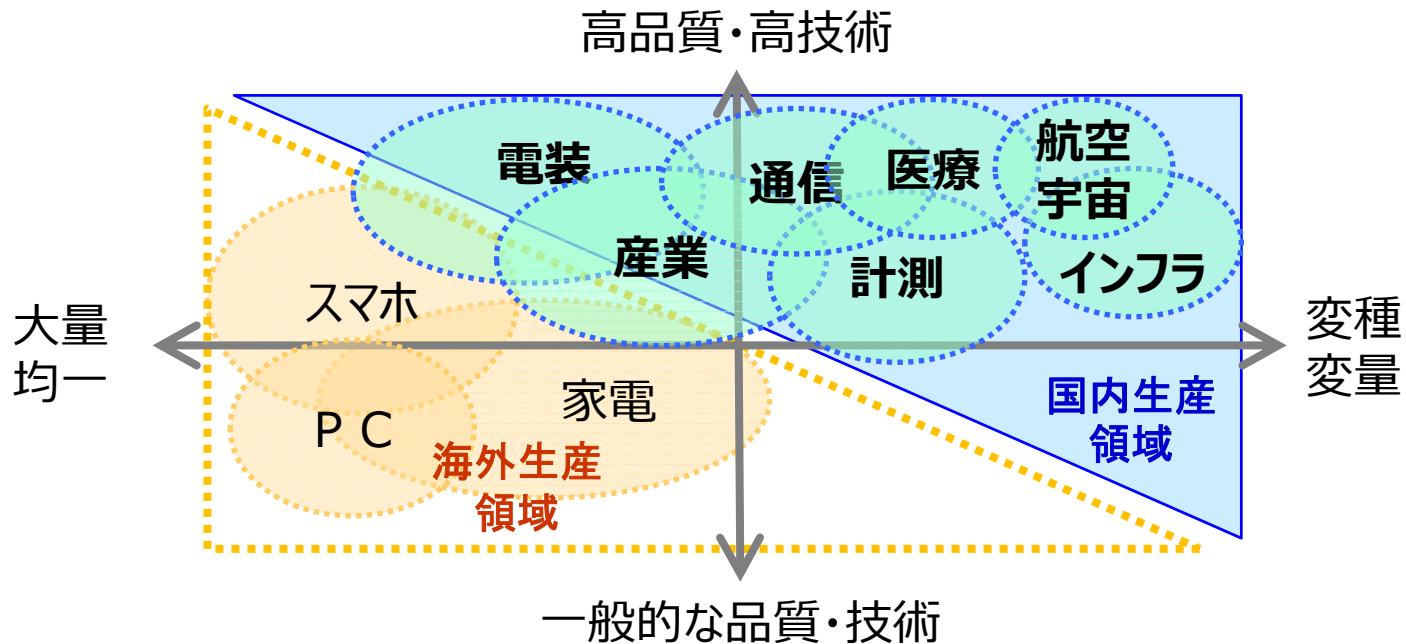
本日のご説明内容

1. 事業の概要
2. 中期経営計画2016の総括
- 3. 中期経営計画2019**

中期経営計画2019の事業戦略

【基本方針】

- 国内生産の継続が見込まれるハイエンド領域にて継続拡大
- 202X年 売上1,000億円を目指す



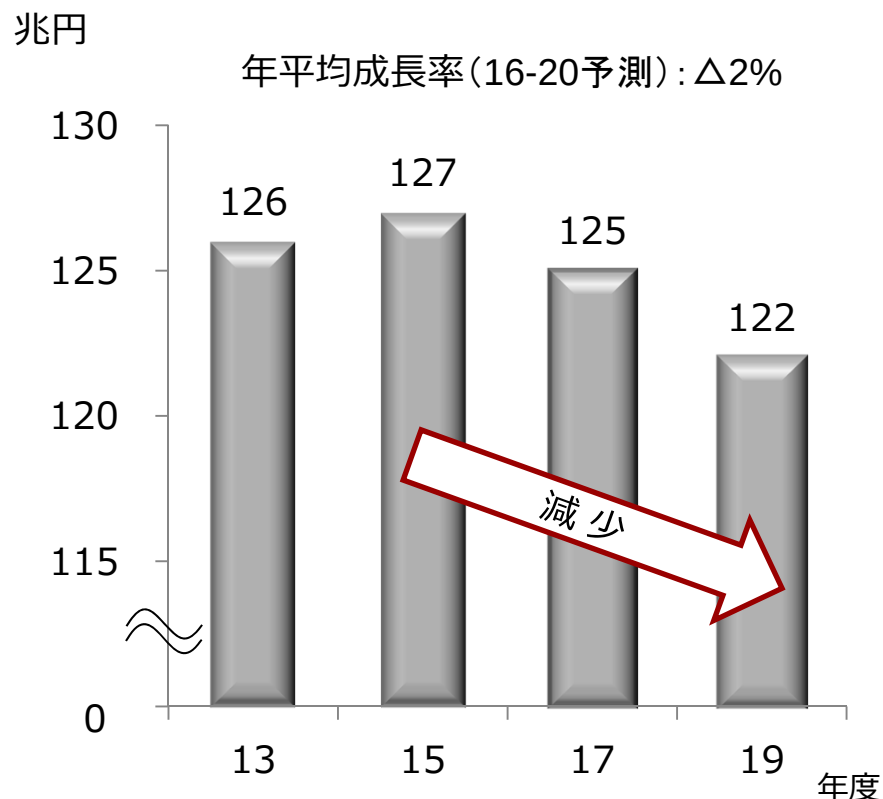
【事業戦略】

- 新規市場（航空宇宙・電装）に本格参入
- M & A・事業移管効果の最大化と、新たなM & Aによる拡大

市場動向

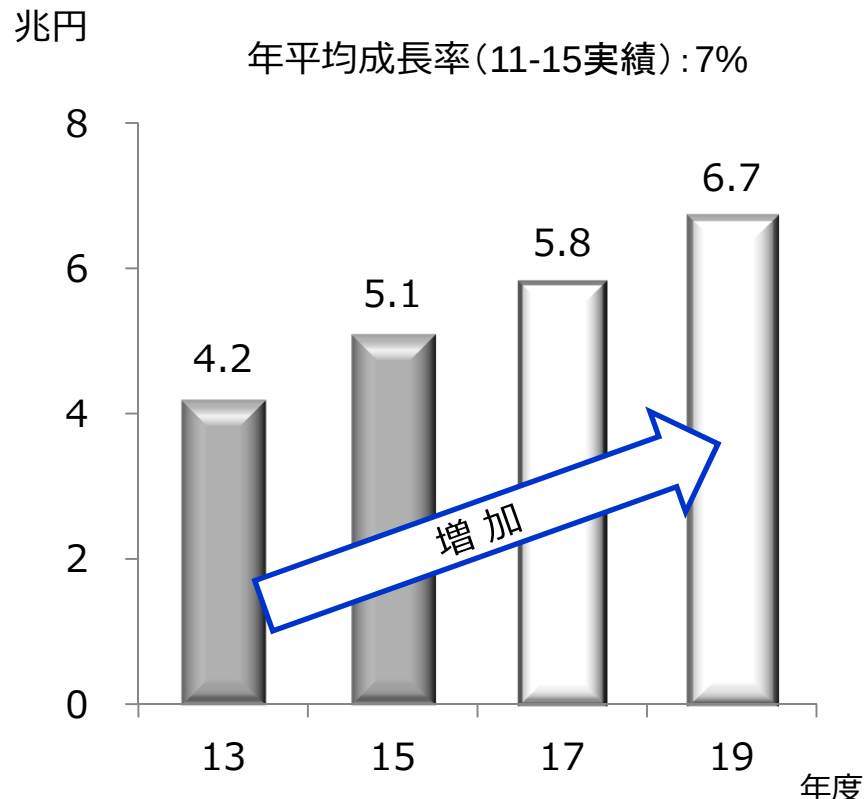
- 国内生産は減少傾向。製造業の水平分業がさらに進む
⇒海外生産シフトに加え、E M S 活用の加速を想定

＜国内製造業 生産予測＞



出所：JIDEA研究グループ（部門別国内生産推移）より抜粋

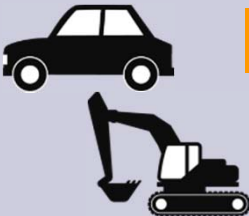
＜国内E M S 需要予測＞



出所：経済産業省（企業活動基本調査）、予測：OKI

重点施策（１）

- 機会（市場変化と新規チャネル）を確実に活かし、
「工場まるごと移管」と「新規市場参入」を推進

市場	機会	施策
 医療	● 新規参入企業の増加 ● 業界再編	● 設計から一貫受託を拡大（設計プロセスの医療認証取得） ● 新規参入業者の取り込みにより、“まるごと移管”を推進
 新市場 航空宇宙	● 事業移管（プリント配線板）により、チャネル獲得 ● コストダウンニーズの高まり	● プリント配線板から受託範囲を拡大 ● JAXA（宇宙）、JIS認証（航空）の認証拡大
 新市場 電装	● 自動化、電子化 ● Xylon社とのADAS用IPの国内独占使用契約 ● 工場のIoT化	● 設計～試作までの受注獲得（FPGA^{注1}、ADAS^{注2}技術活用） ● 建機、特殊車両向け拡大（ADAS、画像、無線技術活用） ● Ether-CAT^{注3}需要の取り込み

（注1）FPGA（field-programmable gate array）：製造後に購入者や設計者が構成を設定できる集積回路であり、広義にはPLD（プログラマブルロジックデバイス）の一種

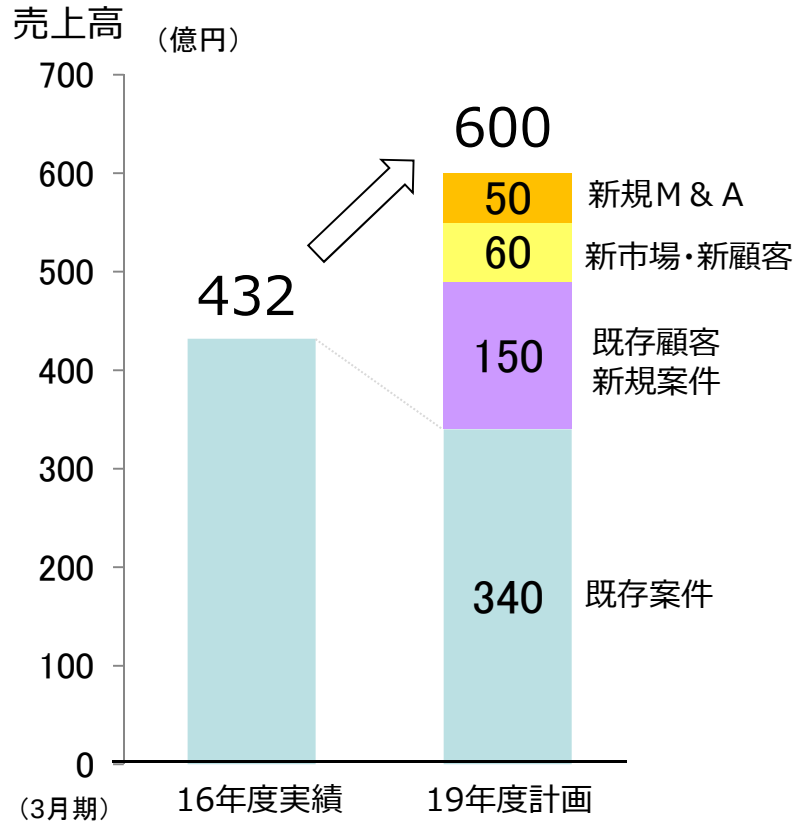
（注2）ADAS（Advanced Driving Assistant System）：自動車の先進運転支援システム

（注3）Ether-CAT（Ethernet for Control Automation Technology）：通常のEthernet ベースの通信回線を利用した超高速フィールドネットワークシステム

重点施策（２）

- 新規M & Aは、シナジー効果をねらい継続検討
- 新規案件の拡大に向け、グループ連携による営業活動強化
- モノづくり力強化に向け、50億円の設備投資

＜売上高＞



＜拡大施策＞

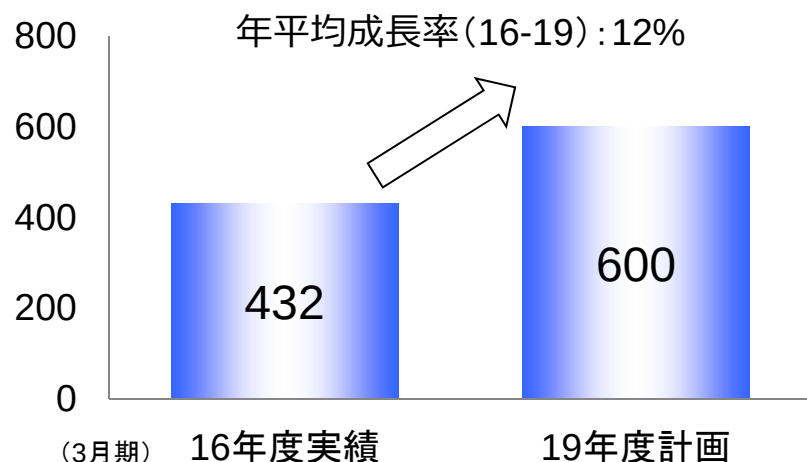
セグメント	施策
新規M & A	・シナジー効果（チャネル、技術、生産キャパ獲得）を目的に継続検討
新市場 新顧客	・航空宇宙・電装品をターゲット ・設備投資（高密度実装、AOI ^{注1} 他） ・評価サービス、規格認証による差別化
既存顧客 新規案件	・新製品の確実な立上げ ・受託プロセスの拡大、まるごと移管推進 ・設備投資（超高精度基板対応、生産能力増強）
既存案件	・顧客満足度をさらに向上させ受注継続（モノづくり力強化、Q C Dのさらなる改善）

(注1) AOI(Automated Optical Inspection) : 自動光学検査装置

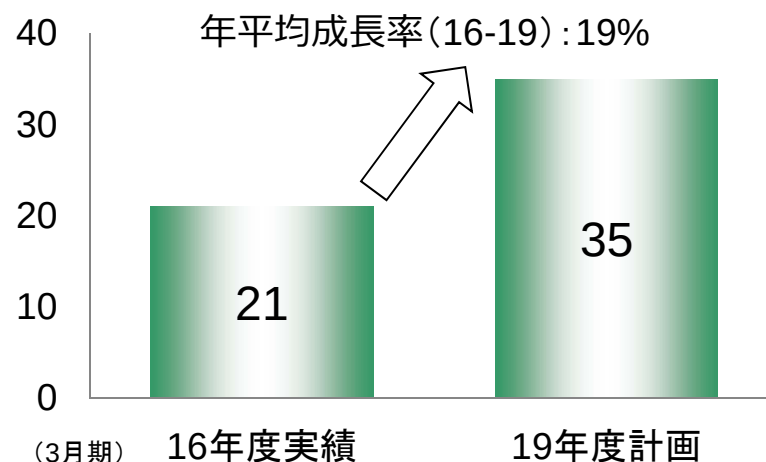
事業計画

- 19年度は、1,000億円に向けた通過点
Made in Japanのモノづくりを強化し、継続した事業成長を目指す

売上高 (億円)



営業利益 (億円)

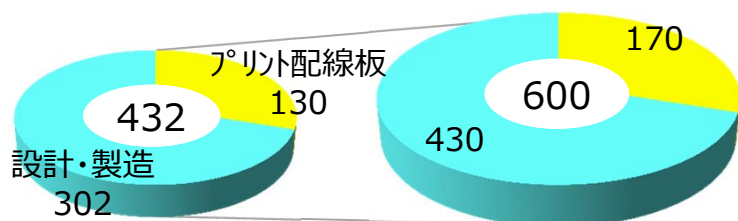


＜構成別売上高内訳＞

(億円)

－16年度実績－

－19年度計画－

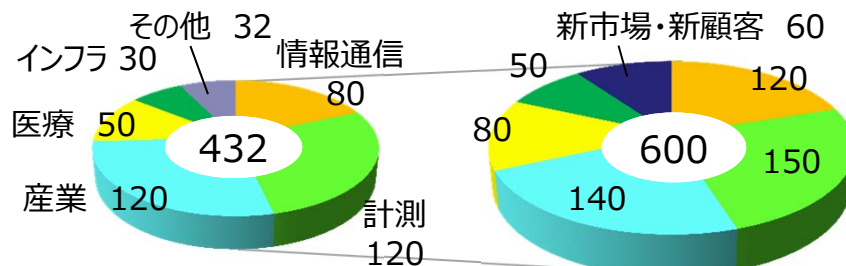


＜市場別売上高内訳＞

(億円)

－16年度実績－

－19年度計画－





Open up your dreams

＜将来情報に関する注意事項＞

＊本資料における将来業績に関する目標等の数値は、公表時点の事業環境に基づくものであり、今後の事業環境変化により実際の業績が異なる可能性があります。